

2011年10月17日

グリーン・グリッド (The Green Grid) 日本支部

グリーン・グリッド

「グリーン・グリッド データセンター・アワード」受賞企業を発表

最優秀賞に、ベストプラクティスを活用したエネルギー効率の改善活動を全社的に実践した JTB情報システムを選定

データセンターおよびビジネス・コンピューティング全般で使用される資源の効率化に取り組む世界規模のコンソーシアムであるグリーン・グリッド (The Green Grid、本部: 米国オレゴン州ビーバートン) は、日本国内の既存データセンターを対象にエネルギー効率の向上に取り組む団体・企業を評価・表彰する「グリーン・グリッド データセンター・アワード」の最優秀賞ほか、受賞企業を発表しました。

「グリーン・グリッド データセンター・アワード」は、日本国内でデータセンターを運用する団体・企業間で、データセンターのエネルギー効率の計測と改善を推進することを目的に、英国DatacenterDynamics社の特別協力のもと昨年創設され、今回で2回目の開催となります。

アワードでは、グリーン・グリッドが推奨するエネルギー効率化の指標であるPUE (Power Usage Effectiveness: 電力使用効率) やDCiE (Data Center infrastructure Efficiency: データセンター施設の電力効率) などのエネルギー効率の絶対値では無く、これらの指標を用いた上でのエネルギー効率化に対する取り組み、指標改善の継続性など、改善活動を中心に評価しました。

選考は、グリーン・グリッドのほか、グリーン・グリッドの協力団体である特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム、グリーンIT推進協議会、特定非営利活動法人 日本データセンター協会<五十音順>、メディア協力のITmedia エンタープライズ (アイティメディア株式会社) とITpro (株式会社日経BP) <ABC順>、そしてDatacenterDynamics社によって構成されるアワード実行委員会が行いました。厳正な審査の結果、最優秀賞に株式会社 JTB情報システムを、また優秀賞に伊藤忠テクノソリューションズ株式会社を、特別賞に日立電線株式会社を選定しました。

◆ 最優秀賞

受賞企業: 株式会社 JTB情報システム

プロジェクト名: データセンター革新 ユーザ系データセンターのあるべき姿と今後の未来予想

受賞のポイント:

JTB情報システムは、PUEやASHRAE2008など業界の指標とそのベストプラクティスを活用したエネルギー効率の改善活動を全社的に実践し、従来、単なるサーバ置き場だったデータセンターをエネルギー効率が高く、しかもプロフィットセンターとなる“誇れるデータセンター”へと変容させました。加えて、ユーザー企業でありながら全社的なビジョンの実現に向けたアイデアを積極的に外部のステークホルダーと

共有し、将来的なエネルギー効率化に役立っている点を評価しました。

◆ 優秀賞

受賞企業:伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

プロジェクト名:今夏のピークシフトにも貢献!独自のアイデアによる継続的な改善の取り組み

受賞のポイント:

伊藤忠テクノソリューションズは、PUE指標を用いた省エネ化に加え、ナトリウム硫黄電池システムを利用した夜間電力による充電と、氷蓄熱式空調システムによる夜間低温外気を利用した冷熱製造により、電力使用のピークシフトを実践しました。これは、今夏発動された電力使用制限令に伴う電力削減目標達成で多大な効果を挙げただけでなく、二酸化炭素(CO2)排出量の削減効果のある地球にやさしい省エネの新しい方向性を示しており、国際的にも注目に値すると考えています。

◆ 特別賞

受賞企業:日立電線株式会社

プロジェクト名:水冷媒循環式 超省エネルギー型 免震データセンターの実用化

受賞のポイント:

日立電線は、建築・空調・制御・ITが総合的に連携した省エネ化に取り組み、エネルギー効率を最大化する自動運用技術を開発し、実践しました。また、IT機器の高密度実装から発生する排気熱のエネルギーの再利用、さらには冷気・暖気の混合を防ぐ自然換気方式とASHRAE2008基準を利用した冷気温度の高温設定によるフリークーリングの稼働期間を延長など、先進的な取り組みを実践し、大きな成果を挙げている点を評価しました。

「グリーン・グリッド データセンター・アワード」実行委員会を代表してグリーン・グリッド日本技術委員会代表 田口 栄治は「東日本大震災に伴う電力使用制限令により、データセンター運用者はその対策に追われたにも関わらず、様々な業種から特長のあるエネルギー改善活動の応募があったことを嬉しく思います。今回は、ユーザー企業の応募が増えたことが印象的でした。これは、データセンターでのエネルギー効率の改善が、ITサービス事業者だけに内在する課題ではなく、一般企業の間でも戦略的な意味を持つ重要な課題として認識されてきた表れだととらえています。このような認識の広がりがあったからこそ、今夏の電力不足に際しても、データセンターが安定稼働したと言っても過言では無いと考えます。グリーン・グリッドでは、データセンター、ひいては社会の持続的な発展に向け、同アワードを通じて引き続き、エネルギー効率の改善活動の普及拡大を推進します」と述べています。

「グリーン・グリッド データセンター・アワード」の概要は別添の通りです。

グリーン・グリッドについて

2007年に設立されたグリーン・グリッドは、世界各地の会員企業によって構成される業界団体として、データセンターおよびビジネス・コンピューティングにおける資源の効率化を推進しています。グリーン・グリッドは、特定企業の製品あるいはソリューションを推奨するのではなく、データセンターにおける資源の効率の改善に必



要なベストプラクティス、指標および技術を業界全体の視点から提供することを目指しています。グリーン・グリッドに関する詳細については、www.thegreengrid.jp をご覧ください。

【報道関係からのお問い合わせ先】

グリーン・グリッド広報担当 (ウェーバー・シヤンドウィック・ワールドワイド株式会社) 大崎／田坂

Tel: 03-5427-7396 Eメール: japanpr@lists.thegreengrid.org

【一般の方からのお問い合わせ先】

グリーン・グリッド事務局 Eメール: admin@lists.thegreengrid.org

(別添)

「グリーン・グリッド データセンター・アワード」の概要

- 主催: グリーン・グリッド
- 特別協力: DatacenterDynamics社
- 協力: 特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム(ASPIC)
グリーンIT推進協議会
特定非営利活動法人 日本データセンター協会(予定) <五十音順>
- メディア協力: Cloud Watch(株式会社 Impress Watch)
ITmedia エンタープライズ(アイティメディア株式会社)
ITpro(株式会社 日経BP) <ABC順>
- 対象企業: 日本国内にデータセンターを設置し、自社で、もしくは事業展開として、2010年12月1日以前からデータセンターを実務運用している団体・企業
- 評価内容: PUE やDCiEなどのエネルギー効率の絶対値では無く、エネルギー効率化に対する取り組みや指標改善の継続性など、改善活動を主眼に評価
- 計測条件: 1) エネルギー効率改善の期間
エネルギー効率の改善活動を継続的に行い、応募時点で最低6ヵ月以上、その活動を実施していること
2) エネルギー効率改善の定量化
グリーン・グリッドが推奨する評価基準(PUE、DCiE)を活用し、改善前後で定量的な計測が行われていること
- 評価基準: 下記5項目それぞれを最大20点と設定し、加点方式で審査
- 1) **定量化:** データセンター施設で、PUE/DCiEを活用したエネルギー効率促進プログラムに基づいて改善前・改善後の定量化が行われている
 - 2) **目標設定と計画性:** 分析した内容に基づいて改善の対象を特定し、その対象毎に目標を設定している。さらに目標達成のために改善計画の作成をしている
 - 3) **継続性:** 改善活動を継続的に実施し、成果をあげていること。その際、改善効果をPUE/DCiEを用いて相対的に評価している
 - 4) **社会貢献性:** エネルギー効率改善に向けて活動をベストプラクティスとして業界に向けて広く展開し、より多くのデータセンターでのエネルギー効率化の活動に協力する意向を保持している
 - 5) **独創性:** エネルギー効率を考慮した上で、独創的な特色をもった活動を行っている(例: エネルギー効率の高い事業継続計画を実施している、など)
- 応募期間: 2011年6月13日(月)～9月16日(金)(日本時間)

- 選考委員： 「グリーン・グリッド データセンター・アワード」実行委員会
- 特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム(ASPIC)
 - グリーンIT推進協議会
 - 特定非営利活動法人 日本データセンター協会(予定) <五十音順>
 - ITmedia エンタープライズ(アイティメディア株式会社)
 - ITpro(株式会社 日経BP) <ABC順>
 - DatacenterDynamics社
 - グリーン・グリッド

- 選考結果： 受賞企業:株式会社 JTB情報システム
プロジェクト名:データセンター革新 ユーザ系データセンターのあるべき姿と今後の未来予想
- 優秀賞:伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
プロジェクト名:今夏のピークシフトにも貢献！独自のアイデアによる継続的な改善の取り組み
- 特別賞:日立電線株式会社
プロジェクト名:水冷媒循環式 超省エネルギー型 免震データセンターの実用化